

# 市長の ふれあい訪問

●今回の訪問先●

「コ・ラボ西川口」  
(早稲田大学 そうだ おきむ 早田 幸 研究室)

早稲田大学と地域住民、企業、行政との協働によって運営するまちづくり社会実験拠点として、平成21年9月に開設された「コ・ラボ西川口」。ここで地域に密着した提案型の調査研究や、自らプロジェクトを企画・実行し、創造都市を目指した新しいまちづくりの社会実験を試みている早田教授と研究室のみなさんを岡村市長が訪問。活動内容などを聞きました。



**市長** みなさんこんにちは。新年度を迎えました。新たな予算を執行するという、われわれにとっては緊張する月です。さて、今月の市長のふれあい訪問は、「コ・ラボ西川口」で活動するみなさんです。どうぞよろしくお願いします。

先ず「コ・ラボ西川口」は、どのような組織ですか。

**早田** 大学のまちなかキャンパスです。大学内ではなく、まちの中で勉強します。まちづくりのお手伝いをする学生が集まり、地域の人々と交流しながらまちを元気にし、自らも学ぶ場所です。

**市長** 早稲田大学における、早田教授のゼミということになりますか。

**早田** そうですね。ゼミの学生は30人、それ以外の学生も100人くらい活動しています。ほかの大学の学生も参加しています。

**市長** 「コ・ラボ西川口」の開設はいつですか。

**野口** 平成21年の9月にオープンしました。みなさんと協力しながら社会実験を重ね、西川口の地域再生のために頑張っています。

**市長** 学生のみなさんに伺いますが、このゼミを選んだ理由は何かですか。

**渡邊** まちづくりに興味があり、実際にまちに出て、まちづくりを経験できることにひかれて、このゼミに入りました。

**市長** 社会人学生の方もいると伺いましたが、大学に入り直したきっかけは何ですか。

**千葉** 自分のやっている仕事と社会をリンクさせながら、地域に貢献できることを学ぶことができなかつたかと思ひ、大学に入りました。

**市長** この取り組みは、斬新ですよ。私も学生時代に、学問は机の上だけではなく、実社会で役に立たなくてはだめだと学びました。



**早田** 早稲田大学の建学の精神に「学問を活かす」という言葉があります。この取り組みは社会のためにもなり、学生たちも成長します。

**市長** 西川口の都市再生の状況はどうですか。

**野口** 地域の方の熱い思いをすごく感じます。しかし、ばらばらな部分もあるので、その人たちをつなげることでの相乗効果を上げるように取り組んでいかなければと考えています。

**市長** プロジェクトの一つとして、川口で麦を作ったと聞いたのですが。

**渡邊** 市内で麦を作り、麦味噌を作りました。この味噌を使い、西川口B級グルメ大会では五平餅を販売し、1千食を完売しました。農業と商業が連携することでまちが元気になればと思います。

**市長** 空き家を利用した、プロジェクトハウスを設置しているそうですが。

**千葉** 西川口は空き家が見られるので、そうした空き家を活用するプロジェクトです。市外から引越してもらい、住んで気づいたことを議論し、地域の人たちとも接しながらまち全体を明るくする場にしていこうと考えています。

**市長** いつまで活動する予定ですか。

**早田** まちが再生するまで、行政と協力していきたいと考えています。



**市長** 川口は多様性のあるまちだと思います。私はよく一言で川口を表現すると、よせ鍋の味だというのがありますが、これだけ可能性のあるまちはないと思っています。ぜひ、みなさんの若い感性で提言してもらい、いいまちにしてもらえればと期待しています。それでは今後の抱負などをお聞かせください。

**早田** 川口には、都市再生のための新しい芽がたくさんあり、それをうまく活かしながら再生するモデルを確立できると思います。学問を現場に活かして元気な西川口をまず作り、そして川口全体を元気にしていきます。それを実現し世界的なモデルとして発信していきたいと考えています。

**市長** ぜひ、よろしくお願ひします。今日はどうもありがとうございました。